

2005年2月7日

## スウェーデン カールソン社との抗精神病薬「ACR-16」導入契約締結のお知らせ

当社はこのほど、スウェーデンの製薬ベンチャー企業カールソン リサーチ AB (以下「カールソン社」)より、抗精神病薬「ACR-16」(開発コード)の全世界における独占的開発・製造・販売契約を締結致しましたので、お知らせします。

ACR-16 は、カールソン社が創製したドパミン スタビライザーと呼ばれる新規なクラスに属する抗精神病薬です。統合失調症をはじめとする神経精神障害の病態生理には中枢神経系におけるドパミン作動性神経系の異常が関与していますが、本剤は、ドパミン活性のレベルに応じて、ドパミン活性が高い場合はドパミン効果を抑制し、低い場合はその効果を増強させることにより、中枢神経系のドパミン活性レベルを安定化させる薬剤です。このドパミン スタビライゼーション効果により、本剤は、安全性の高い抗精神病薬になることが期待され、また統合失調症における陽性症状と陰性症状のみならず、統合失調症で問題となる認知機能障害や、その他の注意欠陥多動性障害 (ADHD)、パーキンソン氏病、ハンチントン病などに対しても治療効果が想定されています。

本剤は、カールソン社が欧州で統合失調症、パーキンソン氏病、ハンチントン病についてフェーズ I 試験を実施し、これまでに得られた前臨床試験ならびに臨床試験の結果、有効性、安全性、薬物動態のいずれにおいても良好なプロファイルを持つことが示唆されています。本剤の開発は、今後、当社 (2005年4月からはアステラス製薬株式会社) が行うこととなります。尚、ハンチントン病に関する開発および販売については、カールソン社が特定国における権利を留保しています。

当社は、国内では、統合失調症治療剤「セロクエル」、入眠剤「マイスリー」、抗うつ剤「ルボックス」などの主力製品を軸に中枢領域において強固たるフランチャイズを確立しています。また、米国でアルツハイマー症治療薬「FK962」(開発コード)がフェーズ II 段階にあるなど、海外においても中枢領域を重点指向領域の一つと捉えており、本剤の導入によって本領域における製品ラインの充実が図れることを期待しています。

カールソン社は、スウェーデンのグーテンベルグに本社をおく製薬ベンチャー企業です。L-DOPA の発見でノーベル賞を受賞したグーテンベルグ大学カールソン教授の研究グループが中心となって 1998 年に設立され、神経精神障害に対する新たな治療法の開発に取り組んでいます。

尚、カールソン リサーチ AB の概要は下記の通りです。

〔記〕

カールソン リサーチ AB の概要

- (1) 英 文 社 名 : Carlsson Research AB
- (2) 設 立 : 1998 年
- (3) 本 社 : Arvid Wallgrens Backe 20, Göteborg, Sweden
- (4) 代 表 者 : Christer de Flon (President, Chief Executive Officer)
- (5) 従 業 員 数 : 研究者を中心に 33 名 ( 2005 年 2 月現在 )
- (6) 事 業 内 容 : 神経精神障害に対する新たな治療法の研究開発
- (7) U R L : <http://www.carlssonresearch.com/>

以 上